

「令和7年度保育所自己評価」結果報告

定員150名のところ、105名の受け入れでスタートいたしました。

保育士確保が困難なこともありました。全クラス複数担任制を導入し、子ども一人ひとりの個性を細やかに把握して保育にあたっています。

毎朝のミーティングの他、未満児会議、以上児会議、職員会議などで、各クラスの様子や子どもの状況を報告し合い、担当以外の子どもの対応もすべての職員が行えるようしています。

職員には、年2回の自己評価表を提出し、自らの保育実践を振り返り、質の向上や改善点に気づき、園長との面談を数回実施しています。

行事に伴う担当係による計画を共有し、実践したのちは反省会を開き、意見を出し合っただけでなく、今後の実施に反映しています。

連絡帳はコドモンを活用し保護者様のご理解を頂き徐々にペーパーレス化に努めています。また、職員が日常保育の様子を撮影し販売したり、行事に関してはコドモンのカメラマンに撮影して頂き販売いたしました。

大きな行事「運動会」は、例年の暑さを考えると練習の為に公園へ出かけていくことが難しいのと、園児の健康を考え6月に開催として計画を立てました。お借りする二谷小学校の校庭と雨天だったら体育館を使用させて頂く了解を得て実施いたしました。

保育内容においては、十分に行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たして生命の保持や安定を図っています。

園外に出かける際に虫除けスプレーを携帯し目的地に到着し、遊ぶ前に塗布しています。健康、安全などの生活に必要な基本的な生活習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培っています。

水遊びは例年7月・8月の2ヶ月ですが、9月の暑さも尋常ではなかったため、2週間延長いたしました。

人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てると共に、自主性や協調する態度を養い道徳性の芽生えを養っています。

自然や社会の事象について興味や関心を育てて、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培っています。

生活の中で言葉への興味や関心を育てて、喜んで話したり聞いたりする態度や豊かな言葉を養っています。

いろいろな体験を通して豊かな感性を育てて、想像力の芽生えを養っています。

事業内容において、

：職員の産休・育休取得や中途退職があり、人員不足を補うことが出来ず、職員に負担を掛けていたことを反省しています。

- : 行事連絡を複数回お知らせすべきだったと反省しています。
- : 感染症対策として保護者のご協力をお願いしていましたが、一年間にウイルス性胃腸炎は23人、手足口病は4人、インフルエンザAは14人、インフルエンザBは24人、溶連菌感染症は3人、流行性結膜炎は2人、他にアデノウイルス、RSウイルス感染症、アタマジラミの登園届が提出されました。
玩具は使用後に消毒をしています。
- : 内科健診は、6月・2月藤江医院の藤江武明医師が来園、欠席児は後日 藤江医院にて受診しました。
- : 歯科健診は、6月・2月HYデンタルクリニックの湯田 宏医師が来園、欠席児は医師が後日来園又は、HYデンタルクリニックにて受診。
- : 3歳児は、視聴覚検査を家庭と園内で実施。
- : 3歳以上児は6月に尿検査を実施。
- : 職員は毎月検便検査実施、健康健診実施、インフルエンザ予防接種実施。
- : 横浜市交通局の交通安全指導を3歳以上児が受けました。
- : 食育活動は、3歳児保育室ベランダにてキュウリと人参、4歳児もベランダで茄子とオクラの成長を見守っていました。園舎西側で5歳児がミニトマト、キュウリ、こかぶを育てて収穫を喜びました。その他、体験学習としてそら豆の皮むき、トウモロコシの皮むき、バターづくり、うどん作りを実施いたしました。
新入園児と未満児の保護者のご協力をいただき、食事に関するアンケートを実施し、結果報告をネット上で閲覧して頂きましたが、結果報告まで時間がかかりすぎてしまいました。
- : アレルギー面談（保護者、担任、栄養士、園長）は、年に4回定期的に実施。
アレルギー食は、専用のトレー・食器を給食室に担当保育士が取りに行き、保育室の専用テーブルで担当保育士と食事をする。卵アレルギー食は給食室から提供するが、胡麻・カニ・エビアレルギーに関しては家庭から弁当持参をお願いしている。

関係各機関との連携としては、

- : 小児療育センターより巡回指導を受け、対応法のアドバイスを伺い、実践しています。
- : 要保護児童については、個々のケースに関して慎重に情報共有しています。
- : 近隣工業高校が授業の一環として動かなくなった玩具の修理や保育園の備品で動かなくなって困っている備品の診断を仰いでいます。
- : 合同防災訓練に参加（近隣高校・近隣保育園）。
- : 幼保小教育交流事業「架け橋プログラム」に職員が参加し、学区内の幼稚園小学校との連携を強化しています。
- : 実習生の受け入れを実施。
- : 地域子育て支援事業（あかちゃんの駅）実施。
- : 延長保育（利用者あり）

- : 障害児保育／特別支援保育
- : 一時保育（利用者なし）
- : 横浜市内の中高校生対象夏休みボランティア活動受け入れ（3名）

設備関係では、

- : 第三期エレベーター機能維持工事。
- : 3階保育室床改修工事。
- : 給食室空調取り替え工事。
- : 玄関自動ドア改修工事。
- : インターフォン交換工事。
- : セコム「AZ-Air」交換工事。
- : 屋上給湯設備補修工事。
- : 害虫駆除作業2回実施。
- : 定期的に保守点検（エレベーター、ホシザキ湘南、セコム株式会社、空調機器、キャノンマーケティング、自動ドア、非常通報、消防関係、グリストラップ）を実施。
- : 保育室ワックス清掃。
- : ピアノ調律。
- : 駐車場のペンキ塗装。

保育士の自己評価

- : 日々の保育を客観的に振り返ることで、「育ちにあった」計画の見直しにも繋がっている。
- : 心理的虐待と思われる言葉がけに対し、面談を重ねて情緒の安定を図った。
- : 指導的立場の職員が各保育室を見回り、気になる点を共有しつつ、面談の場を設ける。
- : 保護者支援として送迎の際に家庭の様子を聞き取り、的確な助言が行えるよう努める。
- : 事務職員や保育補助職員の避難訓練マニュアル・嘔吐処理マニュアルに不安を感じているのが分かり、研修会を数回に分けて実施させていただきます。